

世界とつながる。ともに、一歩先へ

JETRO

TICAD9に向けたジェトロの取り組み

～ビジネスパートナーとして共創する日本とアフリカ～

日本貿易振興機構 理事長 石黒憲彦

開幕まで、あと

16日

2025.08.04

Copyright (C) 2025 Japan External Trade Organization(JETRO). All rights reserved.

JETRO 日本貿易振興機構
(ジェトロ)

1 | 展示会とビジネスフォーラムをAll-in-Oneで

- TICAD 9のテーマ別イベントの1つとして、パシフィコ横浜展示ホール（B、C）で実施。
- 展示会とビジネスフォーラムを集約、**All-in-oneの統合的なビジネスイベント**とする。30都府県の企業が参加。
- 従来の保健衛生や都市問題等に加え、**ポップカルチャーやイノベーションなどの新しいテーマ**を軸にした、ステージイベントや展示を行う。
- ステージでは、**アフリカのチャンピオン企業や注目株、若手インフルエンサー**などを迎えたパネルを実施。
- アフリカラウンジでは、**アフリカ各国のオーナーシップ**でビジネス・投資環境を日本企業向けに紹介。

イベント概要

名称	TICAD Business Expo & Conference (TBEC)
会期	2025年8月20日（水）-22日（金）
会場	パシフィコ横浜 展示ホール B・C
主催	日本貿易振興機構（JETRO）
共催	アフリカビジネス協議会
後援	経済産業省、外務省
規模	10,000㎡
対象来場者	日本・アフリカ各国の首脳・閣僚等要人、 ビジネス関係者等

日本企業による製品・技術・サービスの展示

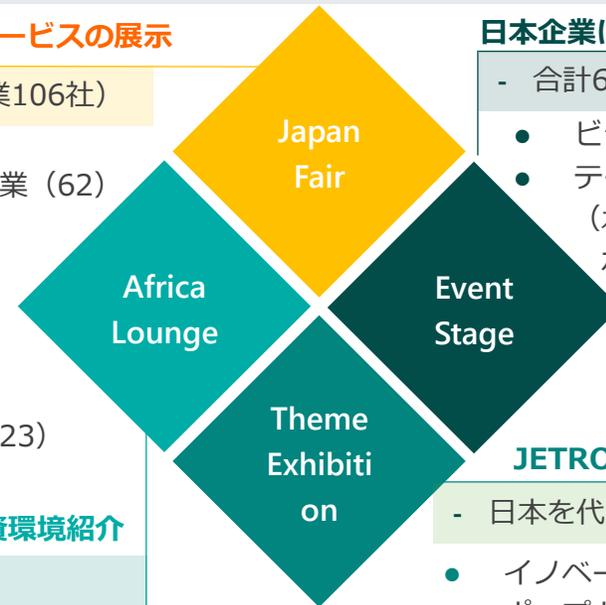
- 195社・団体（うち中小企業106社）

カテゴリー（社数）

- アフリカで活躍する日本企業（62）
- 保健衛生改善（24）
- 気候変動対策（14）
- 都市問題対策（2）
- 人材育成（14）
- 質の高いインフラ（54）
- フードバリューチェーン（23）
- ポップカルチャー（2）

アフリカ各国のビジネス・投資環境紹介

- 39カ国から参加表明有り
- アフリカ各国による日本企業向け情報提供



日本企業によるビジネスステージイベント

- 合計68件
- ビジネスセミナー
- テーマ別パネルディスカッション（水素・再エネ、イノベーション、ポップカルチャー、宇宙など）

JETROによる企画展示スペース

- 日本を代表するアニメ4作品など
- イノベーション | スタートアップの技術紹介
- ポップカルチャー | アニメ、eSportsの紹介とビジネス応用事例

2 日本企業とアフリカ企業による「共創」の場

■メインステージ

300名規模。オープニングやMOUの各種セレモニーの他、JETRO主催のパネルディスカッション等を実施



■テーマ展示 | イノベーション

- ① JapanTech Africa Challenge (JTAC) – アフリカの社会課題の解決に資する技術・製品・サービスを有する日系スタートアップの紹介
- ② 「社会課題を経済成長の原動力に」テーマに、アフリカに対するソリューションを提示。

■小ステージ

会場内に3カ所設置（50名規模）し、日本企業による「アフリカビジネスにおける気づき」を提供するためのセミナー等を実施



■ Africa Lounge

アフリカ各国による投資・ビジネス環境展示。39カ国前後が出展予定。

■ Crossing Park

商談・休憩スペース。JF出品企業による試飲試食も実施。

■テーマ展示 | ポップカルチャー

アニメ（4作品）とeスポーツ（2作品）、アーケードゲーム（1作品）エリアで構成。作品紹介とともに、IPのビジネスへの活用事例を紹介。

■ エントランスイメージ



6 過去最大の195社の日本企業が出展

出品企業例

貝印

日用品

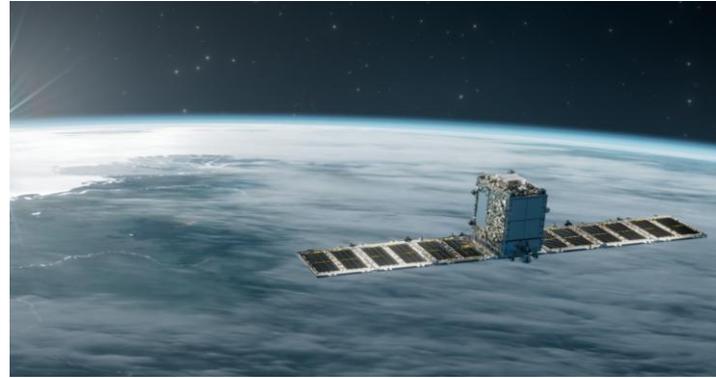


1908年創業のカミソリ・包丁などを扱う総合刃物メーカー。2016年にインド法人を立ち上げ以降、現地の文化や生活習慣に深く根差したローカライズを積極的に行い、現在では中東にも事業を拡大中。

日本の高品質なモノづくりと、インドでの強みを掛け合わせることで、アフリカ市場への展開を狙う。「日本の品質、インドの機動力、アフリカの成長」を軸に、世界の人々の暮らしに寄り添うビジネスの展開を目指す。

SYNSPECTIVE

宇宙



自社によるSAR衛星コンステレーションを持つソリューションプロバイダー。

「次世代の人々が地球を理解し、レジリエントな未来を実現するための新たなインフラをつくる」をミッションに掲げ、小型SAR衛星の開発・運用からコンステレーションを構築しSARデータを生成、更に独自のデータ解析能力を用い、安全保障、自然災害、環境管理など世界が抱える様々な課題に対して、データに基づいたソリューションを提供している。

ヘミセルロース

環境・FVC



植物由来の未利用資源である「ヘミセルロース」に着目し、食物残渣のアップサイクル技術を提案。アフリカの主要作物であるカカオやコーヒーなどの廃棄素材を活用した生分解性ペレット製造の他、植物由来成分を抽出し、化学変性、混練・成形までを一貫して行える技術を有する。植物素材とプラスチック素材を融合させたバイオマス樹脂の開発・量産も進めており、未利用資源の積極的活用と、現地産業の付加価値向上のためのソリューションで、アフリカでの展開を目指す。

4 | ポップカルチャーなどソフトパワーにも着目

- TICAD Business Expo & Conferenceでは「アニメ」「eスポーツ」「アーケードゲーム」の3分野を軸に体感型の企画展示を実施する。アフリカの若年層は増加を続け、今後の消費市場を牽引する。日本のポップカルチャーは、この層への「フック」として有効。
- ケニアやナイジェリア、南アフリカ共和国など、ポップカルチャー関連のイベントが開催され、アニメ、ゲーム、漫画等の日本コンテンツは、アフリカの若年層の間でも人気の高まりをみせている。
- 企画展示は、日本のコンテンツ産業のアフリカ展開（IPのライセンス）のみならず、他業種とのコラボレーションによる協業・連携の可能性も提示することで、より広範なビジネス展開の在り方もアフリカ側に訴求する。

アニメ

近年、アフリカでもアニメやウェブ漫画を楽しむ若者が急増、関連イベントも多数開催されている。一方で、世界的にみると、アフリカでのアニメの認知度は限定的。故に伸びしろが大きく、新たなビジネスチャンスを生み出す可能性を秘めている市場といえる。

アニメゾーンでは、日本を代表するアニメ作品を厳選して複数紹介。来場者が楽しみながら日本アニメの魅力を感じとることができる展示コンテンツを企画。他業種とのコラボ事例も展示し、アニメの幅広いビジネス展開の可能性を伝える。

eスポーツ

新たな職業・製品・サービスの創出、マーケティング・ブランディングへの活用などビジネスツールとして注目されており、世界での市場は30億米ドルを超え、毎年20%以上の拡大をみせている。近年、アフリカでも成長が著しく、スポーツ大会で正式種目として採用される事例もみられる。日本はこれまで世界に誇る数々のゲームコンテンツを生み出し、近年では、アフリカのゲーム開発会社に出資するケースもある。本展示ゾーンでは、eスポーツ世界大会の競技タイトルとしても使用されている日本のゲーム作品を紹介し、来場者に日本の優れたゲーム技術を伝えると共に、eスポーツの商流やビジネスの可能性を紹介する。

アーケードゲーム

日本発のコンテンツが海外で人気となるとともに、それらと親和性の高いアーケードゲームは、それが提供する仮想現実や没入体験という観点でも注目されている。また、レストランやショッピングセンターと併設することで集客の相乗効果を生み出し、老若男女が手軽に楽しめる機会を提供している。日本文化や技術を体現するものの一つとして、今後海外展開が進むとみられる分野である。

本展示ゾーンでは、アーケードゲームを日本文化 x 音楽 x ゲーム体験を掛け合わせたものとして、また、eスポーツの文脈でも展開可能なものとして紹介する。

アニメ

鬼滅の刃



©Koyoharu Gotoge / SHUEISHA, Aniplex, ufotable

大正時代を舞台にした剣戟アクションアニメ。2019年にアニメ放送がスタートし日本国内だけでなく海外でも高い人気を誇り、ワールドツアー上映を行うなど全世界で人気の作品となっている。圧倒的な映像美とその迫力から、全世界で好評を博している。アフリカでも近年非常に高い人気を誇る作品であり、ケニア出身の人気YouTuberも「鬼滅の刃」にリアクションする動画を投稿するなど、アフリカにおいても「鬼滅の刃」は若いアニメファンの間で大きな注目を集めている。

転生したらスライムだった件



©Taiki Kawakami, Fuse, KODANSHA/"Ten-Sura" Project

異世界を舞台にしたファンタジー系アニメで、アメリカをはじめ、海外でも人気が高まりつつある。本作は、ここ10年で確立された“異世界転生”という新たなジャンルを代表する作品であり、来場者に多彩な日本アニメの可能性を伝える。英語圏（北米・欧州）やアジア、南米では広範なファン層を持ち、Crunchrollの視聴統計（2018年度）では、北アフリカで最も“引きつけられる”作品としても注目されており、市場拡大の余地がある。

進撃の巨人



©Hajime Isayama, KODANSHA/"ATTACK ON TITAN" The Final Season Production Committee.

巨人に支配された世界を舞台にしたダークファンタジー・アクション系アニメで、国内外問わず多くのファンに支持される人気作品。特にアフリカ諸国でも高い人気を誇る。最終シーズンの放送はすでに終了しているが、アフリカ各地で開催されるアニメ関連イベントでは、本作品のコスプレをする参加者も見られ、物販でアイテムも販売されるなど、今なお根強い人気を誇る。各シーズンの公開時期には、Googleトレンドにおいて、アフリカ各地域で人気度が100に達することが多く、関心の高さがうかがえる。

東京リベンジャーズ



©Ken Wakui, KODANSHA / TOKYO REVENGERS Anime Production Committee.

現代の東京を舞台にしたタイムリープ、アクション、ドラマ系のアニメ。実写映画化もされ、日本国内のみならず海外でも人気を誇る作品。アフリカでの知名度はやや低いものの、各種配信サービスでは、2020年代を代表する新世代アニメとして視聴される。南アフリカ共和国の「Comi Con Africa」では、主要キャラクターの特攻服を着用したコスプレ参加者も多く見られる。SNSではセリフや喧嘩シーンなどが共有されており、ストリート系ファッションや不良スタイルが現地のユースカルチャーとも親和性を持って受け入れられつつある。

eスポーツ

TEKKEN 8



TEKKEN™8 &
©Bandai Namco Entertainment Inc.

バンダイナムコエンターテインメントから発売された3D対戦格闘ゲーム。30周年を迎えた鉄拳シリーズは、海外でも人気の高い格闘ゲームであり、eスポーツのワールドカップや世界大会の種目などにも選ばれている。近年では、中東などで強い選手が登場し日本国内でも話題となっている。

アフリカ全体でも格闘ゲームの人気は顕著で、ケニアや南アフリカ、ナイジェリアを中心にeスポーツの大会も開催されている。2024年11月には、コンゴ民主共和国の首都キンシャサで、女性プレイヤーのみを対象としたTEKKENのトーナメントも開催された。

eFootball™



©Konami Digital Entertainment

コナミデジタルエンタテインメントが発売するサッカーゲーム。プレイステーション版に加え、モバイル版も展開されており、アフリカで急速に普及するモバイル市場と、圧倒的な人気を誇るスポーツ「サッカー」の両面から、モバイルeスポーツの代表的なタイトルとなっている。フランスのモバイル通信オペレーターであるOrangeは2024年、アフリカ・ネイションズカップとタイミングを合わせ、コートジボワールでアフリカ14カ国を対象としたeFootball 2024のトーナメントを開催。eスポーツがイノベーション、雇用創出、若者の地位向上に繋がるとしている。

アーケードゲーム

太鼓の達人



Taiko no Tatsujin™Series &
©Bandai Namco Entertainment Inc..

バンダイナムコが開発した、和太鼓をモチーフにした音楽アーケードゲーム。パチで太鼓を叩くだけという直感的でシンプルな操作性とともに、J-POPやアニメソングなど人気の楽曲を同時に楽しめるコンテンツとして、日本国内のみならず、海外でも高い人気を誇る。海外では、アジア・オセアニア地域を中心として、2024年には北米地域での展開も始まり、今後より多くの国・地域への展開が期待される。

また、小学生を対象とした太鼓の達人のeスポーツ大会を日本国内で開催。授業や部活動に取り入れる学校も増加しており、教育と組み合わせた展開など、広がりをみせている。

5 | 日・アフリカ企業の協業が紡ぐイノベーションの可能性

JTAC (Japan Tech Africa Challenge)

アフリカの社会課題の解決に資する技術・製品・サービスを有する日系スタートアップを発掘し、ジェトロの在アフリカ事務所の有するネットワークを最大限活用して市場開拓を支援するプログラム。2023年に立ち上げ、これまでに2期・全10社が参加。現地販路・協業先の紹介や展示会出展、専門家アドバイスを通じて、アフリカでの協業・連携・進出を後押ししています。

TBEC出展JTAC支援企業

ARK Inc.	陸上養殖システム
TYPICA Holdings, Inc.	生産者と焙煎事業者をつなぐオンラインプラットフォーム
PEEL Lab K.K. Co., Ltd.	植物性皮革
DO・CHANGE Co., Ltd.	環境に配慮して銅を抽出するリサイクル技術
Anique Inc.	日本のコンテンツIPを活用したリアル&デジタルサービス
SORA Technology Co., Ltd.	ドローンとAIを活用したヘルスケア／農業DXソリューション
TBA Co., Ltd.	STH-PAS法による遺伝子検査キット
Teraform Inc.	土壌の保水性を高める革新的な「スーパースポンジ」
MITAS Medical Inc.	スマートフォンを活用した遠隔眼科診療サービス

J-Twende (Japan-Africa Collaboration Hub)

日本・アフリカの協業により、以下3つのアフリカの重要課題に対応する画期的なイノベーションの創出を目指します。

1. Value chain development 「稼ぐ力」

アフリカの豊富な資源と日本の「稼ぐ力」を活かして高収益ビジネスを生み出す

2. Youth empowerment 「人づくり」

日本流の人材育成により、アフリカの若年層をイノベーションの未来を担う「人財」に

3. Urban development 「街づくり」

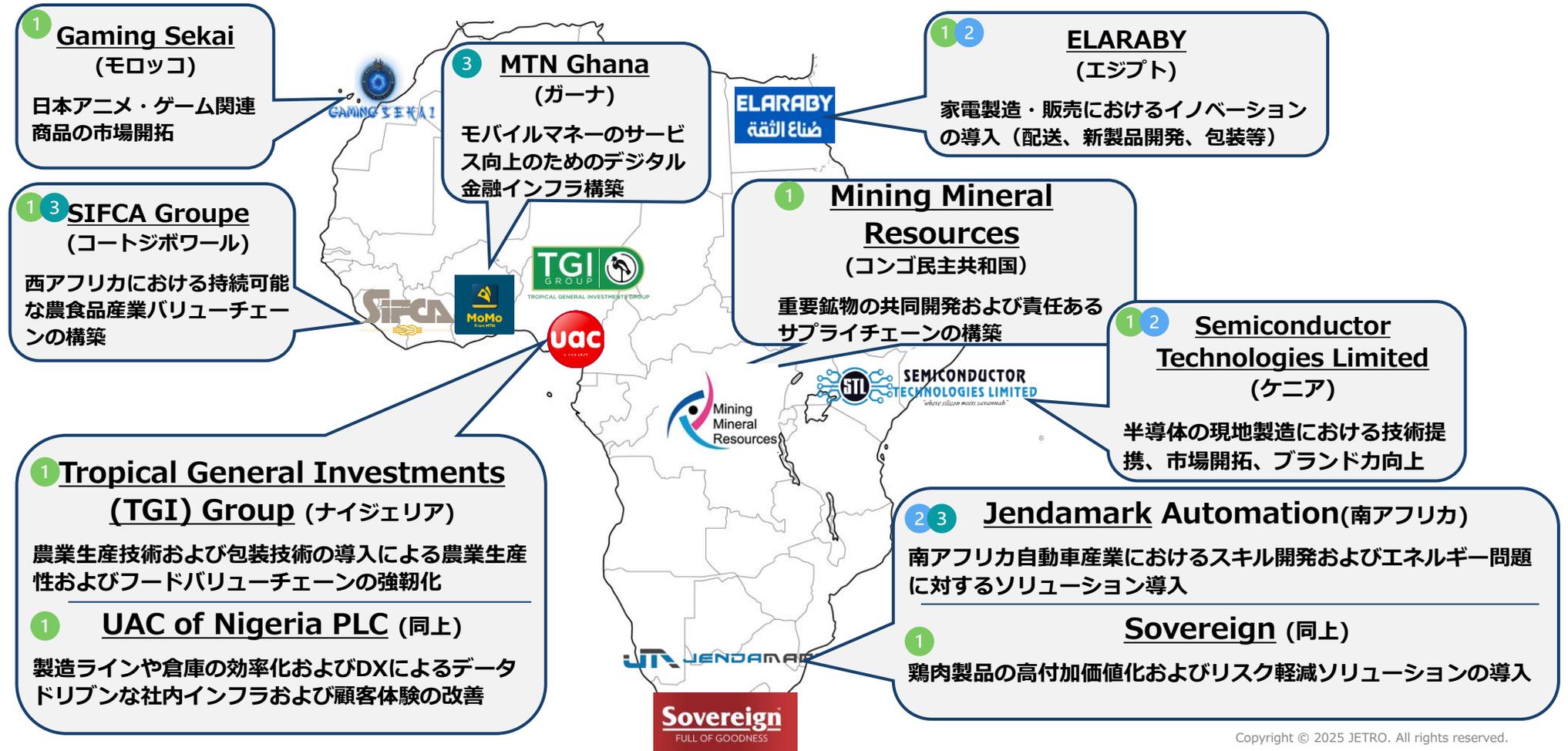
日本の経験・技術を活かして急速な都市化の課題を乗り越え、アフリカの都市を成長エンジンに

日本企業との協業連携によって、上記テーマに関連するビジネス上の課題解決を目指すアフリカ有力企業（チャレンジオーナー）と、課題解決に資する技術等を持つ日本企業のマッチングを実施。

第一弾として、2025年8月20～22日に開催されるTICAD Business EXPO&Conferenceに合わせて、ジェトロが選定したチャレンジオーナーが来日し、ビジネス上の課題についてリバースピッチを行います。また、応募された日本企業とチャレンジオーナーとの商談をジェトロがアレンジ、その後の商談進捗に応じた支援します。

6 | J-Twende –アフリカの課題と日本の解決力から生みだす共創

- アフリカ8カ国10社が来日し、以下3つのアフリカの重要課題に関連するニーズを披露し、日本企業との協業を呼びかける。
- **① Value chain development : 稼ぐ力** **② Youth empowerment : 人づくり** **③ Urban development : 街づくり**
- 日本企業は、チャレンジオーナーの課題解決ニーズに寄り添うことで、現地市場のピント合わせをスムーズに実施できる。



7 TBECプレナリー – 日本とアフリカの新時代を切り拓く

- 8月21日（水曜）には、成長企業を迎えてTBECステージイベントのプレナリーセッションを開催（3部構成）。
- 所在国や地域で圧倒的な存在感をもつ企業（1部）、若者を見据えた事業構築のヒント（2部）、注目国から勢いのある企業幹部を招く（3部）。
- プレナリー以外では、水素・再エネやスタートアップ、宇宙技術を活用した共創の可能性などもパネルディスカッションテーマとして採択。

【第1部】

「アフリカのビジネスチャンピオン」

厳しいビジネス環境においてもたくましく成長を続け、国家をも支えるアフリカのビジネスチャンピオンを迎え、アフリカの成長のダイナミズムや日本企業との協業の可能性を探る。

ソナトラック（アルジェリア）

・アルジェリアの炭化水素公社。同国のGDPの3分の1を占める売上高で、アフリカ最大の売上高を誇る。

エチオピア航空（エチオピア）

・アフリカ最大のエアラインで世界136都市に就航。年間1億1,000万人規模の新空港建設発表。

シフカグループ（コートジボワール）

・西アフリカを代表するアグロインダストリー企業。パーム油や砂糖、天然ゴムなどが主な事業。

オラスコム（エジプト）

・アフリカ最大の建設会社。世界20カ国以上で200以上のプロジェクトを抱える。

オアンド（ナイジェリア）

・地場エネルギー企業として最大規模。原油生産に加えて、EV事業や風力発電なども取り組む

【第2部】

「日・アフリカ新時代の担い手」

日・アフリカ新時代の担い手となるアフリカの若年層を見据えた事業の再構築にはどのようなアプローチが可能か。イノベーションやクリエイティブ産業など次世代を担うビジネスリーダーに聞く。

ダリーラ（エジプト）

・AIを活用した女性のための健康支援プラットフォームを開発。インスタグラムフォロワーは93万人以上。

セミコンダクター・テクノロジーズ（ケニア）

・アフリカ初の半導体製造企業。世界の半導体サプライチェーンの一角に入ることを目指す。

クガリ・メディア（ナイジェリア）

・ナイジェリア拠点のアニメーションスタジオ。ディズニーとラゴス舞台のアニメを制作し国際的評価を獲得。

NBA アフリカ（米国・アフリカ）

・米国のプロバスケットボールリーグがアフリカ進出。スポーツが人気のアフリカでソフトパワーを生かす。

ソラ・テクノロジーズ（日本）

・AIとドローン技術を活用しグローバルヘルスや農業問題に取り組む。アフリカで展開する日本の代表的テック・スタートアップに成長。

【第3部】

「変貌するフロンティア」

フロンティアとして変貌するアフリカでの新たなビジネス潮流に注目し、資源や人口増により注目を集めるコンゴ民主共和国などのフロンティアからビジネスリーダーを招き、パートナーシップの可能性を探る。

ヴィンマート・グループ（コンゴ民主共和国）

・同国最大のコンゴロマリットの一つ。錫、タンタル、タングステンなどの資源採掘や供給網を構築。

リバティ・グループ（コンゴ民主共和国）

・同国最大級の流通・小売・製造企業グループの一つ。ルブンバシなど南部で広くスーパーマーケット事業などを展開。

CRDB バンク（タンザニア）

・同国最大の商業銀行。コンゴ民やブルンジなどにも進出。

バクレサ・グループ（タンザニア）

・東アフリカを中心にアフリカ10カ国に展開するコンゴロマリット。食品加工を中心に、スポーツクラブ経営や新たに通信なども手掛ける。

TGI グループ（ナイジェリア）

・食品・アグリビジネス、消費財、ヘルスケア、金融など幅広い事業。アフリカ、アジア、中東など13カ国に展開。

本日（8月4日）新たにTBEC出展者やステージイベントのカタログ詳細版を公開

TICAD Business Expo & Conference |

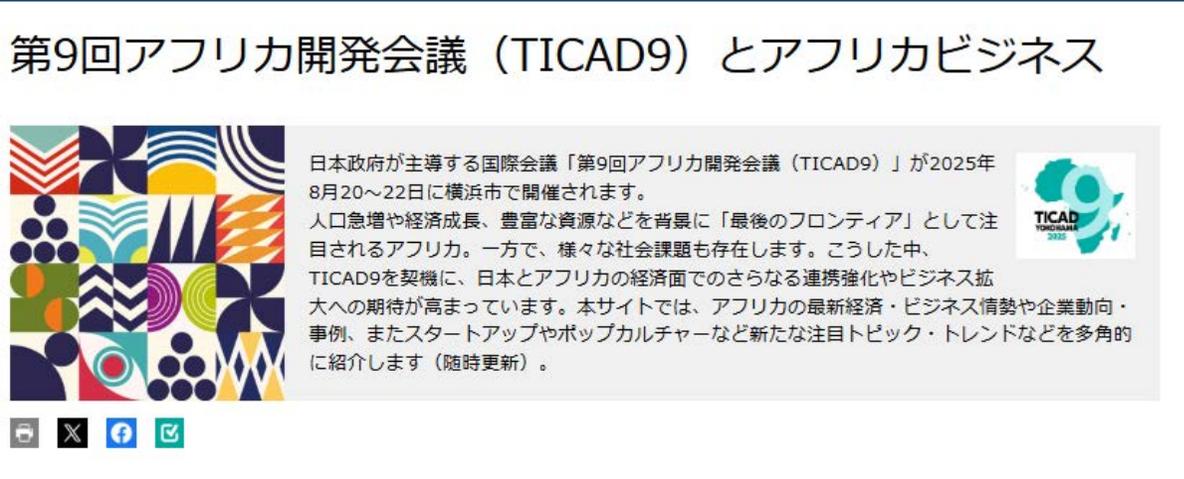


-  Japan Fair出展企業、ステージイベント、Africa Lounge情報掲載
-  TBEC来場事前登録ーネットワークシステムへのゲートウェイー
-  Japan Fair出展者カタログ、ステージイベントカタログ掲載

TICAD関連調査特集サイト

60本以上のレポートを公開中

第9回アフリカ開発会議（TICAD9）とアフリカビジネス



日本政府が主導する国際会議「第9回アフリカ開発会議（TICAD9）」が2025年8月20～22日に横浜市で開催されます。

人口急増や経済成長、豊富な資源などを背景に「最後のフロンティア」として注目されるアフリカ。一方で、様々な社会課題も存在します。こうした中、TICAD9を契機に、日本とアフリカの経済面でのさらなる連携強化やビジネス拡大への期待が高まっています。本サイトでは、アフリカの最新経済・ビジネス情勢や企業動向・事例、またスタートアップやポップカルチャーなど新たな注目トピック・トレンドなどを多角的に紹介します（随時更新）。

-  アフリカ・ビジネスデータ、企業事例、各国の動向などを紹介
-  スタートアップやポップカルチャーなど注目分野・テーマも特集
-  ジェトロ現地所長によるアフリカウェビナー（アーカイブ）掲載